

正算  
補正

# 企業施設拡充 町有地売却予定

## 質疑

**委員** 解体に至った経緯は。解体費用は売却価格に含むのか。  
**当局** 保管庫敷地に隣接する企業から、業務拡大等に伴い、敷地を譲り受けたいとの話があり、更地にして譲渡することとなった。  
 不動産鑑定士の評価はもらっているが、売却価格は未決定。今後、企業と協議していく。

### 機械保管庫なぜ解体

**委員** 機械保管庫はどうなるのか。  
**当局** まずは企業の要望に沿って解体を優先するが、保管庫は必要であり、整備について、今後、検討していく。

### 伝統工芸人材育成の効果は

**委員** 事業の内容と、町にとつてのメリットは。

**当局** 新規従事者に技術指導を行う事業主に対し支援する。  
 伝統工芸従事者の高齢化の抑制のほか、対象となる新規従事者は最長8年間町に住むことが条件のため、定住にもつながればありがたい。

保管庫の整備は既存の町有地を利用すべき。



解体を待つ機械保管庫

## 一般会計補正の主なもの

- 林業振興費（委託料及び工事請負費） 203万円**  
町内企業の敷地拡充に対応するため、町所有の機械保管庫を解体するもの。
- 林業成長産業化総合対策事業 1億3547万円**  
白光園整備の木材利用等に対する補助内示を受け、民生費から農林水産業費へ組み替えるもの。
- 伝統工芸文化人材育成事業 116万円**  
伝統工芸の技術習得と伝承の人材確保を図るため支援するもの。
- 企業立地促進事業 3000万円**  
申請の増加見込みによる追加計上。
- 町道維持補修費 1520万円**  
町道の維持補修工事費等の追加計上。  
◆中山針生線、追分味噌田線ほか
- 小学校管理費（修繕料） 125万円**  
蚕桑小学校、鮎貝小学校、東根小学校の施設修繕。
- 文化交流センター費 93万円**  
収蔵庫の改修等を行うもの。
- 林業災害復旧事業 625万円**  
融雪被害を受けた白鷹東部線の復旧対応。  
など

◎ 財源は国、県支出金、繰越金などで対応します。

平成30年度補正予算総括表		
会計項目	補正額	補正後の額
一般会計	1億9021万円	85億21万円

※万円未満は端数を調整しています。